

[01_02]海外大学図書館等視察報告

渡邊, 由紀子

昌子, 喜信

<https://doi.org/10.15017/16479>

出版情報 : 海外大学図書館等視察報告. 1-2, pp.1-, 1997-12. Kyushu University Library
バージョン :
権利関係 :

刊行のことば

世界的な学術情報ネットワークの整備により、必要な情報の入手の方法が一変してきた。手許のパソコンの画面をマウスでクリックすれば、世界の様々な最新情報がたちどころに手にはいる。この革命ともいべき学術情報流通手段の革新により、今後、学術研究の国際化が急速に進んでいくと思われる。

このような時代に、大学における学術情報の収集、整理、提供という重要な任務を担う大学図書館職員は、その視野を広げ、国際的感覚を身に付ける必要がある。そのためには職員を世界に派遣し、実状を実際に見聞してもらうのが最も有効な方法であろう。

また、本学は新キャンパスへの移転を計画しており、移転後の新図書館システム構築に向けて、外国の図書館の最新の状況を調査する必要がある。

九州大学附属図書館では、平成8年度に、「九州大学創立八十周年記念事業国際学術交流基金による事務系職員の海外派遣」により、2名の図書館職員を連合王国及びアメリカ合衆国に派遣した。

また、平成9年11月には、平成9年度教育改善推進費（学長裁量経費）による国際交流関係事業の一環として、本館の研究開発室室員及び職員計2名をアメリカ合衆国に派遣した。

派遣者には詳細な報告書を書いてもらったが、これをまとめ『海外大学図書館等視察報告』として順次刊行し、関係者等に配布することとした。

今後、関係者の御理解を得て、この報告を継続して刊行できることを希望する。

平成9年12月

九州大学附属図書館長

小山 勉